

教育事業「第3回小学生ジオ探検隊」事業報告書

企画指導専門職 小宮 広明

1. 事業概要

- (1) 実施期間 平成27年11月15日(日)【日帰り実施】
- (2) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家他
- (3) 参加者 11名(継続参加者:9名 初参加:1名 昨年度参加者:1名)
- (4) 講師 池辺 伸一郎 氏(久木文化財団 阿蘇火山博物館 館長)
広瀬 顕美 氏(阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド)
山本 セツ 氏(阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド)
花岡 利和 氏(阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド)
- (5) 事業内容
 - ① 上米塚探検
 - ② 阿蘇溶岩トンネル探検(米塚)
 - a 米塚の穴
 - b こうもり穴
 - c 花見山の穴

2. 成果と課題

(1) 成果

- ① プログラムの計画段階から、阿蘇火山博物館長、ジオガイドの方など、専門家の方からアドバイスを頂き、安全でかつ充実した活動ができた。特に、事前踏査も十分でき、当日の行程も時間通りに行うことができた。
- ② プログラムの「阿蘇溶岩トンネル」探検は、参加者も楽しみしていたようで、活動終了後のアンケートでは、参加者の満足度も高かった。
- ③ 参加者の感想には、「私は、同じ噴火でできた米塚でも、つくりには色々な特徴があることが分かりました。上米塚のスコリアには、赤っぽい色と黒っぽい色の2つに分かれていました。(中略)スコリアには鉄分があることも知りました。米塚について知ることができてよかったです。」
「溶岩トンネルに行って、全部のトンネルにコケがあったことが驚きでした。楽しかったことは、溶岩トンネルにたくさん行けたことです。一つずつ少しちがっていておもしろかったです。阿蘇の自然がもっと知れてよかったです。4回目も参加したいです。」など、ジオサイトに関して専門的な知識に興味を示したり、子どもの目線での新しい発見や驚きを感じたりしたという感想が多く見られた。

(2) 課題

- ① 今回は、阿蘇溶岩トンネル探検を行ったが、ジオサイトとして未開発なサイトでもあり、安全の確保については、十分な配慮や検討が必要である。
- ② 参加者の話を聞く態度や姿勢が気になるときがあり、教育事業である以上、適切な指導が必要である。



ジオ博士(池辺館長)の説明に耳を傾ける参加者



上米塚のスコリア観察の様子



上米塚と参加者



米塚の穴の探検①



米塚の穴の探検②



「スキのふくろう」作りに取り組む参加者



花見山の穴に潜入



感想発表の様子